

みどりとともに

大瀧 典夫 会長筆

第 6 号

2003年1月1日

社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸1丁目3番2号

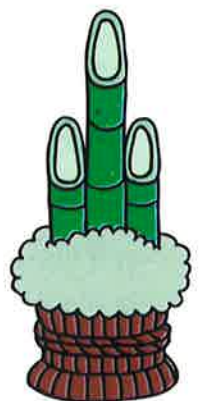
林業会館3階



「那珂河口の海霧」 渡邊四郎氏撮影

❖❖❖❖ も く じ ❖❖❖❖

新年のごあいさつ	2
「奥久慈林業地帯林道」が竣工	3
他県における木材使用の現状について	4～5
町から村から（八郷町）	6
豊かな森林資源活用施策の展開	
協会だより	7
各種コンクール、ホームページ開設	
協会の主な動き	8



新年のごあいさつ

(社)茨城県治山林道協会会長 大瀧 典夫



新年あけましておめでとうございます。
皆様方には、さわやかな新年をお迎えのことと
心からお喜び申し上げます。

日頃、皆様方から治山・林道事業の推進に当
りましては、格別なご支援やご協力を賜って
おりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、林野公共事業を取り巻く情勢は、平成13
年度に策定された森林・林業基本計画等を踏まえ、
森林の有する多面的機能の持続的発揮が図られる
よう、森林の整備・保全のための施策を推進する
こととなっております。

特に、温室効果ガス削減目標の6%を達成する
ためには、森林の二酸化炭素吸収による3.9%削減

目標の達成が不可欠である
ことから、地球温暖化防止
対策の関連事業の公共投資
に期待するところが大きいです。

このようなことから、森林をしっかりと整備し、
山村の振興を図るため、治山・林道事業を強力に
推進して参りたいと決意を新たにするとところで
ございます。

皆様方から、なお一層ご高配を賜りますよう
お願い申し上げますとともに、新しい年が希望に満
ちた年になりますことをご祈念申し上げ、新年の
ごあいさつと致します。

新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 中村 武雄



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

森林は美しい国土づくりの基礎をなすもので、
良質な水資源を安定的に確保する「緑のダム」と
しての機能、山地災害から国民の生命・財産を守
り、安全な暮らしを実現する国土保全機能、森林
と人とが共生し、憩いとやすらぎを与える環境保
全機能、そして、二酸化炭素を吸収・固定する地
球温暖化防止機能など様々な働きにより私たちの
身のまわりの快適な生活環境を支えています。

特に京都議定書における国際公約である温室効
果ガスの6パーセント削減達成のカギを握るのは
森林の整備となっており、「森林の持つ公益性が
如何に大きいのか」「我々はこれから如何にして森

林を守っていくのか」など
認識を新たにし、森林の働
きを最大限に活かし、緑を
守り育て、緑と命を育む心を育てていかなければ
ならないと考えております。

我が国の社会経済システムが大きな変革期を迎
える中で、あらゆる分野で構造改革が進められて
おり、県といたしましても、公共事業の一層の重
点的な執行と透明性の確保等を図るとともに、コ
スト意識を徹底し、より効率的で成果を重視した
事業展開を図ってまいりたいと考えておりますの
で、より一層のご理解とご協力を賜りますよう
お願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

「奥久慈林業地帯林道」が竣工

茨城県林業課

県が整備を進めてきました、大子町の袋田を起点として、男体山の西側を経て終点の北富田に至る、延長14.5kmの奥久慈林業地帯林道「袋田・男体・湯沢線」が竣工いたしました。

奥久慈地域の中で、久慈川東部の袋田から南の当該地域は、県産材の供給拠点として高く評価されている一方で、林道整備の遅れから間伐等の行き届かない森林が数多く見られました。

これらの森林の育成・林業の活性化と併せて、本県有数の山岳景観美を誇る男体山とその周辺地域の振興を図ることを目的に、この林道は平成2年度に着工しました。

地形的に山間の急峻地を通っており、また、奥久慈県立自然公園内を通過することもあるため、自然環境の保全にも細心の注意を払いながら工事を進めてきました。

地形の改変を最小限に抑えるため、茨城県の林道では初めてとなるトンネルや橋を採用するなど、本県における林道事業関係者の技術、知識の向上にも大いに貢献しました。



古分屋敷橋と男体トンネル

そして、着工後12年間の歳月と63億7千万円の事業費をかけて、平成13年度末に全ての工事が完了しましたが、この間、事業の推進にあたりまし

て、格別のご支援・ご協力を賜りました関係者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、昨年10月10日には、総勢100余名の出席者のもとで竣工式が開催されました。

当日は快晴で、絶好の式典日和となり、現地式典では、男体山をバックに知事、大子町長、県並びに町議会議員による記念碑除幕、記念植樹が行われました。

場所を移して行われた竣工式典では、林道の竣工に顕著な功績があった方々に、知事から感謝状が贈呈されました。

この竣工式を契機として、周辺の森林整備や地域の振興が促進されるとともに、林道の重要性が再認識されることを期待しているところです。



記念碑を前にして（バックは男体山）

また県では、平成7年度から、大子町、水府村、山方町を結ぶ、奥久慈グリーンライン林道の整備も進めており、これらの林道の整備は、奥久慈地域のさらなる活性化につながるものと確信しております。

今後も、豊かな森林の育成と活力ある林業の展開を目指して、事業を積極的に進めてまいりますので、読者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

他県における木材使用の現状について

治山林道協会

現在、木材利用の積極的な推進が、重要課題となっています。環境に負荷の少ない循環型資源である木材を有効的に利用し、更に促進させるため、他県での木材利用の現状を見聞し、積極的に設計に取り入れて行きたいと考えています。

そこで、当協会では、平成14年度に、栃木県と新潟県へ、木材使用工事を主とした視察研修を実施しました。ここに、それぞれの研修内容を紹介します。

1. 木材使用治山工事の視察研修を終えて

今回、治山工事での木材利用の視察研修として、当協会4名、県北地方総合事務所森林土木課担当職員の方々5名、総勢9名にて、栃木県協会にお世話になりました。その中で、烏山林務事務所管内での、「雪害区域内における木製床固工」について報告します。

平成13年1月、栃木県東部（馬頭町と烏山町の区域面積655ha）及び隣接の茨城県西部の一部に、この月には例を見ない、湿った大雪をもたらし、幹折れや根倒れ等の雪害を引起こしました。被災地の林内で伐採除去された被害材のうち、商品価値のない材については一部放置され、他の被害材についても、完全に処理出来ない状態であったそうです。そこで、被害木の除去対策とその有効利用の手法として、木製の床固工（写真）を施工されています。

被害木の特徴については、材質の大半が5齢級（21～25年生）以上のスギ材であり、発生場所に関しては、沢沿い（特に林道・作業道等）に多く集中していた、と云う事でした。

施工上の問題点や検討事項として、現地発生材を、未加工の皮付きのまま使用したために、施工性の面で比較するためには、一部加工材を使用した場合の検討、また、材の結束になまし鉄線を使用した場合と、ボルト締めとしたときの検討等、が挙げられていました。



木製床固工

今回見学した木製床固工については、水量が少なく、流送砂礫の少ない、小渓流に適した構造となっています。計画施工地の地形形状に合わせ、自由に設定ができることから、汎用性の高い構造であると思われます。本県においては、比較的小渓流が多く存在することより、間伐材を未加工の皮付きのまま使用し、しかもコスト面や施工性に優れた、このような木製工種を、積極的に設計計画していきたいと思います。

尚、見学した他工種のなかで、木製水叩工については、平成14年度の治山工事の中に採用され、現在施工中です。

今回の視察研修に当り、ご指導を頂いた栃木県烏山林務事務所、並びに、栃木県治山林道協会の皆様方には、大変にお世話になり、有難うございました。

2. 平成14年度治山林道担当現地研修を終えて

平成14年11月14～15日の2日間にわたり、新潟県下において開催した、現地研修会について報告します。

今回のテーマは、「治山・林道工事における木材（木製構造物）の有効利用を考える」。

各担当者におかれましては、木材の利用について、日々、試行錯誤の事と思います。しかしながら、真剣に取り組むが故に迷走し、結局は既存の工法を選択してしまっているのが、実状ではないでしょうか。マニュアル本や参考図書をめくり、完成をイメージしても、写真から受ける感覚と、実際に見るのとでは、似て非なるもの。ならばこの機会にと、総勢38名の技術者が一同に会し、お世話になる事となりました。



現地研修の様子

新潟県北東部に位置する、菱ヶ岳（973.5m）を主峰とする五頭連峰南西の山麓を、安田町、水原町を経て、笹神村に至る、「ふるさと林道（広域基幹林道）五頭山麓南線」、延長約14.4kmの林道が今回の研修地となりました。現地にて、新潟林業事務所、林道担当のかたより、開設の経緯、工種、工法等の路線概要を説明して頂き、参加者各人が熱心に聞き入っていました。中でも、法面パネル工（県産間伐材使用）は、特に興味を引い

たようです。この工種は、間伐材（L=2m）を板材（t=4cm）に加工連結して、2m×0.5mのパネル状にしたものを、切土法面にアンカーピンで、連続固定する法面保護工です。曲線内の法面にも、支障なく設置可能な特長を有する、「スグレモノ」だと思いました。しかも、張ブロック工と同じ機能を持ちながら、見た目の硬さ、冷たさを感じさせないので、「林道らしい」法面保護工の一つだと思います。

参加者は、それぞれの視点からこの工種を見、何かを得た事と思います。今後、茨城の林道にも、間違いなく登場することでしょう。



間伐材を使用した法面パネル工

今回の研修会が、治山・林道事業を実施するうえで、大きなテーマとなっている間伐材等の有効利用・需要促進について、皆様方の、更なる研鑽の一助となれば幸いです。

新潟県の関係各位の皆様には、あいにくの天候にも拘わらず、大変お世話になりました。この冊子をご一読いただく頃は、冬も本番のことと思います。くれぐれも、お身体ご自愛下さい。

ありがとうございました。

治山林道協会

治山担当・林道担当



町から村から

豊かな森林資源活用施策の展開

八 郷 町

八郷町は、名峰・筑波山の東麓に開かれた町です。三方を国定公園や自然公園に指定されている山並に囲まれ、その山々を水源とする一級河川「恋瀬川」が町の中央を流れる、緑豊かな自然景観を有しています。

本町の森林面積は7,176ha（林野率47%）であり、森林の少ない県南地域の中では貴重な緑資源となっています。

町では、この豊富な森林が持つ多面的機能を総合的に発揮し、地域の振興を図るため、従前から林業構造改善事業等を導入し、林道開設、特用林産物の集出荷施設整備、森林活用環境施設整備等を進めてきました。

なかでも、森林レクリエーション拠点整備を目的として、同事業を導入して平成12年度にオープンした「つくばねオートキャンプ場」は、周辺の既設散策道とともに森林浴や自然探訪が楽しめる施設になっています。町の観光拠点であるフラワーパークや観光果樹園等との相乗効果によって利用者が順調に増えており、町の活性化及び都市住民者との交流の場として期待されております。

森林の利用状況は、スギ、ヒノキの人工林が多



オートキャンプ場



「筑波の山並み」

く見られますが、林業の歴史があるとはいえ拡大造林が本格化した時期が遅かったこともあり、保育・間伐林分がその70%に及んでいます。

また、林家の保有規模は、1ha未満が半数、5ha未満を含めると90%を占める零細かつ分散型となっています。

こうした現況を踏まえ町では、森林施業の合理化、生産性の向上を図るため、計画的な林道網の整備を進め、現在林道25路線を管理するほか、さらなる施設の充実を高めるため、現在2路線の開設事業を進めております。

林道「太田・大增線」（L=2,100m W=4.0m）は、来年度には既設林道に接続させ利便性を高めます。平成13年度に着手した林道「半田線」（L=4,200m W=4.0m）は、道路網の少ない同地区山林の施業の促進、木材搬出等の林業振興を図るため、早期完成を目指しております。

林業を巡る厳しい経済情勢のなか、八郷町森林組合や関係機関と連携の上、造林・間伐等の補助事業の導入や林業技術の普及を図るため、間伐講習会の実施等を通じ、健全な森林育成に努めております。

協会だより

1. “グリーンフェスティバル2002”

林道維持管理コンクールの表彰について

平成14年11月3日(日)、那珂町の県植物園で開催された「グリーンフェスティバル2002」記念式典に於いて、林業関係各種コンクールの表彰が行なわれました。

式典の中で、当協会では、大瀧典夫会長が、平成14年度林道維持管理コンクールの「治山林道協会会長賞」を、里美村の田平黒坂線へ授与いたしました。また、茨城県知事賞を受賞した金砂郷町の大藪蜂巢線は、11月6日(水)、日本林道協会主催の林道維持管理コンクールにおいて、「日本林道協会会長賞」を受賞されています。



グリーンフェスティバル2002式典会場

平成14年度林道維持管理コンクール入賞路線

名称	市町村名	路線名
茨城県知事賞	金砂郷町	大藪蜂巢線
日本林道協会会長賞	大子町	大塩後沢線
茨城県農林水産部長賞	里美村	田平黒坂線

2. 木材使用工事コンクールについて

平成14年度、木材使用工事コンクールの入賞工事です。

** 治山木材使用工事 **

☆茨城県知事賞

生活環境保全林整備事業第1-2号

(株)茨城緑化センター

☆茨城県農林水産部長賞

生活環境保全林整備事業第1-1号

(株)仁平工務店

保安林改良事業第12号

茨城県森林組合連合会

☆茨城県治山林道協会会長賞

国有林野内補助治山事業第1号 (株)峯工務店

県単山地治山事業第32号 北条工業(株)

** 林道木材使用工事 **

☆茨城県知事賞

奥久慈グリーンライン林道第7-1号武生線

(株)米屋工務店

☆茨城県農林水産部長賞

国補林道開設事業鳥曾根線(2工区)

常磐土建(株)

国補林道開設事業栗平馬打沢線

(株)片岡組

☆茨城県治山林道協会会長賞

県単林道開設事業本戸前山線 大昭建設工業(株)

県単林道舗装事業鬼ヶ作線 金沢工務店(有)

3. ホームページ開設について

平成14年9月、治山林道協会のホームページを開設しました。事業の目的や事業計画、年間行事、役員名簿、林道維持管理コンクール、間伐材を利用した木材使用工事などを掲載しています。

ホームページアドレス
<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

協会の主な動き

↑ 7月1日

治山・林道工事コンクール、林道維持管理コンクール等打ち合わせ会議（水戸市）

7月2日

茨城県農林水産振興協議会総会（水戸市）
測量業者変更登録申請（国土交通省）

7月4日～5日

関東甲静地区治山林道協会連絡協議会総会（静岡県）

7月8日～10日

都道府県森林土木コンサルタント連絡協議会治山林道技術研修会（東京都）

7月10日

社会保険事務講習会（水戸市）

7月24日

林道河原野田平線竣工祝賀会（里美村）

7月25日～27日

役員現地研修会・第2回役員会（北海道）

7月28日

県民参加の森づくり推進事業<下草刈り>（水府村）

↑ 8月7日

(社)日本治山治水協会総会（東京都）
日本林道協会臨時総会（東京都）

8月9日

治山・林道工事コンクール、林道維持管理コンクール等審査会（水戸市）

8月12日

木材使用工事現地視察研修（栃木県）

8月30日

林業雇用改善セミナー（水戸市）

↑ 9月13日

公益法人協会実務研修会（水戸市）

9月17日

第56回全国植樹祭林業関係機関等説明会（水戸市）

9月19日～20日

全国治山林道協会専従役員会議（千葉県）

9月20日

治山事業実施細則打ち合わせ（水戸市）

↑ 10月6日

第26回全国育樹祭（佐賀県）

↑ 10月9日

全国治山林道協会長会議（東京都）

10月10日

奥久慈林業地帯林道竣工式（大子町）

10月16日～17日

茨城県農林水産振興協議会県外視察（福島県）

10月23日～24日

第42回治山研究発表会（東京都）

10月27日

県民参加の森づくり推進事業<枝打ち・除伐>（常北町）

10月29日

森林土木事業研修会（水戸市）

↑ 11月3日

グリーンフェスティバル2002（那珂町）

11月6日

日本林道協会理事会・総会（東京都）
治山林道コンクール表彰式・2002治山林道のつどい（東京都）

11月12日

林業団体連絡会議（水戸市）

11月14日～15日

市町村担当課長等現地研修会（新潟県）

11月18日～19日

関東甲静地区常勤役員会議（静岡県）

↑ 12月12日

平成15年度林野公共予算対策本部（東京都）

「みどりとともに」No.5号の訂正とお詫び

前回No.5号の4ページにおいて、「林道規程」の「規程」が一部誤って、「規定」の文字になっていました。訂正し、お詫びいたします。

「みどりとともに」

（年2回発行）

社団法人 茨城県治山林道協会
編集・発行 大瀧典夫
水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp